

オーストラリアの道路について

鈴木 那奈（中学2年）

私は、キャンデンに滞在中に、オーストラリアの道路について調べました。オーストラリアの道路は、日本と同じ左側通行でしたが、日本と異なることがありました。

1. 信号機について

信号の色は日本と同じ赤、黄、青ですが、日本のように横並びの信号はなく、ほとんど縦並びです。また、歩行者用の信号機は、ほとんど「手動式」です。信号機の下に押しボタンがあり、そのボタンを押すと信号が変わります。その押しボタンですが、日本のボタンよりも、かなり大きいです。ボタンは二種類あり、上の矢印のついたボタンは音と振動を発するようになっています。これは目や耳が不自由な人が、音や振動で信号の変化を感じられるようにするためです。また、矢印は進行方向を表しています。なお、歩行者用の信号機は思ったより赤に変わるのが早かったです。

2. 交差点について

オーストラリアには日本にはあまりない、ラウンドアバウトという交差点の役割をしているロータリーがあります。ラウンドアバウトは、信号がなく、時計回りに進み、常に右側優先で、右側から来る車に対して先にラウンドアバウト内に入っている車がいた場合その車を優先させます。

◆メリット①出会いがしらの事故が起きない

ラウンドアバウトは、進行方向が決まっています。つまり、すべてのクルマが同じ方向に回るため、十字の交差点で発生するような、衝突事故を防ぐことができます。

◆メリット②信号いらず、震災時も安心

信号がなく周囲の車に合わせて、いつでも進入できます。信号の待ち時間が無くなることや、震災などで停電しても、信号を利用していないので困りません。

◆デメリット①渋滞の原因

ラウンドアバウトではスピードが落ち、交通事故が起きにくくなる一方、交通量が多い場所では車が増えるのでスピードが落ちてしまいます。日本で軽井沢にラウンドアバウトが導入されたのは、そういった理由があるのかもしれません。



ラウンドアバウト

オーストラリアには日本と異なる便利な道路に関する仕組みが沢山あり、日本にもさらに便利な仕組みが増えてほしいです。